



沿岸部～汽水域まで生息する。ハゼの仲間で最もポピュラーな種。北潟湖産 全長：約20cm

ハゼ科 マハゼ属

【全長】25cm

## マハゼ

学名：*Acanthogobius flavimanus*

### 分布域

日本全国に分布する。

### 生息域

沿岸域～汽水域の砂泥底を好む。  
準淡水域にも侵入する。



生息地・生息数とも比較的多い。幼魚

体色は淡褐色で体側中央に不規則な暗色斑が縦に散在する。臀鰭と尾鰭の上部3分の2には明瞭な点列があり下3分の1は無斑。幼魚期は第1背鰭の後端に黒色斑がある。食性は動物食に偏った雑食性で底生動物や小魚を主とするが藻類も食べる。産卵期は春と秋でオスが泥底にやや深い巣穴を掘ってメスを誘う。メスは巣穴の壁面に産卵しオスが単独で卵を保護する。水質の汚染にも比較的強い。

水槽での飼育は可能。海水10%前後～海水100%まで問題ない。餌は活きた小魚や甲殻類(エビ)などを与える。砂に潜る習性があり、細かく丸い底砂が好ましい。

在来種

周縁魚

汽水魚

※ 福井県内では生息地・生息数とも多い。また、沿岸部～純淡水域にまで侵入し生息環境も広い。釣りの対象魚として人気。